

分科会等名： 運動器分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	臨床医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>21世紀における国民健康作り運動として、壮年期死亡の減少と健康寿命延伸及び生活の質向上を目的に「健康日本21」が2000年から10年間進められてきた。その最終評価の中で、今後の新たな課題として「要介護状態を予防するための取組の推進、中でも生活機能低下予防とロコモ予防」や「高齢者、女性の健康」などが指摘されている。その対応には、運動器（骨・関節・神経・筋肉）の健康力維持が求められる。実際、厚労省の国民生活調査でも自覚症状として男女とも腰痛や肩こり、関節痛などの運動器障害が上位を占め、要支援・要介護となる原因でも関節疾患や骨折・転倒が上位にランクされている。この様に、今後さらに高齢化が進む我が国において、運動器疾患対策は急務である。しかし、学童期から高齢者までの運動器疾患対策は後れをとっており、大規模な疫学調査や介入研究も少ない。さらに、多くの国民が悩んでいる腰痛や膝痛などの運動器に伴う慢性疼痛への対策も不十分である。</p> <p>そこで本分科会では、学童期から超高齢者に至る運動器疾患・障害に関する疫学、予防、さらに診断から治療までの総合的運動器疾患対策を検討するため、関係する臨床医学分野を中心に、基礎医学や健康・生活科学・スポーツ医学部門などとも連携して国や関連学会等へ重要課題について適宜提言を行い、国民に向けても必要な情報を発信する。</p>

4	審 議 事 項	1. 運動器の基礎・臨床研究の問題点と今後の方向性に係る審議に関すること 2. 高齢社会における健康寿命延伸に向けた運動器疾患対策に係る審議に関すること 3. 学童から超高齢者までの健全な運動器維持と障害予防に係る審議に関すること 4. 優れた運動器担当医育成のための教育と専門医制度に係る審議に関すること 5. 運動器に関する国民への啓発活動と国際連携に係る審議に関すること
5	設 置 期 間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 <small>常設</small>
6	備 考	